# 名古屋市における「令和6年度予算」について

名古屋市では、令和6年度予算として2兆9,937億円の予算が成立しました。
今後も、本会議や委員会での質問・議論を通じ、市民の皆様に納めていただいた
大切な税金の遣い道について、しっかりとチェックしてまいります。

| | | |
|---|---|---|
| 一般会計 | 市税が主な財源。福祉、教育、道路や公園の整備など、基本的な事業を行うための会計。 | 1兆4,853億円 |
| 特別会計 | 保険料など、特定の収入で特定の事業を行うための会計。 | 1兆773億円 |
| 公営企業会計 | 水道、市バスや地下鉄など、主にサービスを受ける方からいただく料金で運営する会計。 | 4,310億円 |

＜令和6年度予算における新規事業の例＞

市民サービス

**住民票の写し等のコンビニ交付導入準備…1,121万円**

※別に債務負担行為：1億4,900万円

住民票の写しや所得証明書などをコンビニで取得できる仕組みの導入により、市民の皆様の利便性の向上及び窓口業務の効率化を図る。

教育

**教育情報ネットワークシステムの再構築**

※債務負担行為：108億700万円

すべての子どもたちの可能性を引き出す学びを実現するために、学校教育におけるICT基盤の計画的整備を行う。

子育て・福祉

**民間保育所等の整備補助…25億1,631万円**

地域で実績のある既存施設の老朽改築等により、令和7年4月の待機児童ゼロに向けて、必要な利用枠の確保・維持を図る。

※「債務負担行為」とは?…複数年度に跨る契約などにより、翌年度以降に債務を負う内容を、予め予算で定めておくもの。

## ご意見やお困りごと、お聞かせください!

大島ひでひろの市政報告をご覧いただき、誠にありがとうございます。
皆様の声を市政に届けて、より良い名古屋をつくるための仕事をしてまいります。市政へのご意見やお困りごとなどございましたら、
お気軽にメール（hidehiro.oshima.ra@gmail.com）
または、公式LINE（右記QRコード）までご連絡ください。
どんな内容でも、お気軽にお問い合わせください!

公式LINE

発行責任者：名古屋市会議員　大島 英勲
〒465-0047 名古屋市名東区小池町60三和マンション1階
Tel/070-8909-9716　Fax/050-3094-8895
E-mail/hidehiro.oshima.ra@gmail.com

各SNSで市政情報など日々発信中!
フォロー・いいね!お願いします!
大島ひでひろ

身を切る改革、維新だからできる。
日本維新の会

日本維新の会　名古屋市会議員（名東区選出）

# 大島ひでひろ 市政報告 vol.4

～ 古い政治を壊す。新しい政治を創る。 ～

## 市政に送っていただき一年が経ちました

名古屋市議会議員選挙から一年が経過しました
皆様のご支援のお陰で、元気に活動をさせていただいております
いつも本当にありがとうございます
さて、この一年は、特に「政治とカネ」の問題で、
政治への不信感が募りに募った一年だったのではないでしょうか
私自身は、もちろんこれまでと何かが変わることはありませんが
政治の世界に身を置く当事者として、今後もしっかりと襟を正し、
名古屋を、そしてこの国を良くするための政治を実現するため、
初心を忘れることなく、愚直な活動に邁進してまいります
引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします
※本号では、2/20-3/21に開催された名古屋市議会・2月定例会の模様を中心にお知らせします

名古屋市会議員
**大島ひでひろ**

昭和60年名古屋市生まれ/愛知県立明和高校、中央大学法学部卒/
郵便局㈱（現・日本郵便㈱）入社後、社長秘書、経営企画部など歴任/
愛知維新の会事務局次長を経て、令和5年名古屋市会議員選挙（名東区）初当選/
現所属：日本維新の会名古屋市議団、愛知維新の会幹事長代行

# 2月定例会個人質問「教科書採択について」

今年は4年に1度、中学校の教科書が決まる年。
子どもの健やかな発育のため、教育が
果たすべき役割と、教科書の存在は大きいもの。
自分が生まれた国や地域を大切に想い、
誇りを持って名古屋の子どもたちが育って欲しい。
そのために教科書の選定は、適切に、
そして透明に進められなければならない。
強い想いを込めて、質問を行いました。

## 1. 見映えよりも、内容重視の教科書採択を。

大島ひでひろ

国では、教科書採択の一環で行う調査研究について、
「装丁や見映えではなく、教育基本法や学習指導要領の
目標を踏まえているか等、内容への十分な考慮が重要」
「保護者をはじめ、国民により開かれたものにすることが重要」
という明確な指針を示している。
名古屋市では、教科書選定にあたって、学校関係者のみで
「調査専門委員会」を構成。そこで扱う7つの調査項目の
うち、学習指導要領の内容に関する項目は1つのみ。
「装丁」「見映え」に該当する項目数の方が多く、
これらの状況は、国の指針を踏まえているとは言い難い。
また、多くの科目で同一出版社の教科書が長年に渡って
使用され続ける傾向が強いなど、名古屋市の教科書採択には
より高い透明性と、プロセスの改善が必要ではないか。

教育長

教科書採択のための調査研究にあたっては、文科省の
指針を踏まえるとともに、県教育委員会が示す観点を参考と
するほか、本市独自の観点も加えながら決定しているところ。
今後も、調査研究資料の充実に向け、
教育委員会会議において十分協議していく。

## 2. 真に、市民に開かれた教科書採択を。

大島ひでひろ

名古屋市では、教科書採択についての情報公開が
不十分。市民の皆様が、採択される教科書を手に取り、
ご意見をいただく機会である「教科書展示会」の会場は、
これまで16区のうちの7区のみでの開催に留まる。
また「採択した理由」、「教科書研究のために作成した資料」
などは、国が「公開を努力義務」としているにも関わらず、
ホームページ上で公開すらされていない。
「議事録を載せているから読んでください」というのは、
果たして真に市民目線での答弁と言えるのか。

教科書展示会については、保護者等を含めたより多くの
市民にご参加いただけるよう、会場の増設について、
今後検討していく。また、資料の公表については、
その方法等について工夫をしていく。

教育長

### ちょこっと解説;「教科書採択」進め方は、まち次第?

教育に関する基本的な方針は、教育基本法や学習指導要領に定められ、
教科書も、その指針に基づき採択されます。そして、その指針には、
「我が国の伝統と文化の尊重」「それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する
態度を養う」といった、子どもの肯定感を育むための目標が明記されています。
例えば東京都では、「歴史」科目の教科書について、こうした目標を踏まえ、
「歴史上の人物の数」「主な文化遺産の数」など、数値で比較を行うための項目、
「領土問題の扱い」「北朝鮮の拉致問題の扱い」といった、教科書ごとの記載内容を
比較するための調査項目が資料化、誰でも一目で対比できるようになっています。
こうした点からも、名古屋市の対応は遅れていると言わざるを得ず、
今回の答弁も、現状と正面から向き合わない不誠実なものと感じます。少なくとも、
「十分協議していく」といった状況を、今後もしっかりと注視してまいります。

※質問の詳しい様子は、動画をYoutubeにアップ →
しています。ぜひ右記QRコードからご覧いただき、 →
ご意見などいただけたら嬉しいです! →